

坂井市下水道事業経営戦略 経費回収率の向上に向けたロードマップ

国土交通省「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進」に基づき、経費回収率の向上に向けたロードマップを以下に示します。

(1) ロードマップ

経営戦略については概ね5年ごとに、問題点や改善点を踏まえ見直しを行います。その際に経費回収率向上に向け、適正な使用料について検討を行います。また、ストックマネジメント計画に基づき、事業費の平準化を図ります。

表 1 経費回収率の向上に向けたロードマップ

項目	年度	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	
経営戦略計画期間	既計画												
		経営戦略 計画期間 (令和8年度策定)						経営戦略 計画期間 (令和12年度策定)					
経営戦略策定・見直し		◎					◎					◎	
使用料の検討						使用料検討						使用料検討	
接続促進による水洗化率の向上		接続促進 (水洗化率向上)											
ストックマネジメント実施計画		実施計画 (第1期)			実施計画 (第2期)						実施計画 (第3期)		
官民連携手法 (PPP/PFI) 導入		検討			導入開始								

(2) 業務目標

1) 計画期間

- ・令和 8 (2026) 年度 ~ 令和 12 (2030) 年度 の 5 年間

2) 取組内容

- ・経営戦略の定期的な見直し
- ・接続促進による水洗化率の向上
- ・適切な使用料検討 (経営戦略見直し時点で検討)
- ・ストックマネジメント計画に基づく改築事業の実施 (事業の効率化、投資の平準化)
- ・PPP/PFI 手法に係る検討の実施

3) 業務目標

- ・令和 12 年度の経費回収率 100%以上の確保
- ・令和 12 年度までの期間、水洗化率 96.8 %

(3) 業績目標の見通し

1) 経費回収率の推移

経営戦略策定期間である令和 8～12 年度の 5 年間における収支計画より、経費回収率の見通しは次のとおりとなります。取組施策を実施しますが、物価上昇や賃金上昇を見込んでいるため経費回収率は微減傾向となります。経営戦略を 5 年に 1 回程度見直すとともに、経営の実態を踏まえ、下水道使用料検討を行うことで 100 %の達成を目指します。

表 2 使用料単価・汚水処理原価及び経費回収率の推移

年度		R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12 (目標年)	R13	R14	R15	R16
項目	使用料単価(A) (円/m ³)	154.7	154.5	154.5	154.5	154.5	154.5	154.5	154.5	154.5	154.5	154.5
	汚水処理原価(B) (円/m ³)	162.1	164.1	164.6	164.7	165.2	165.7	166.2	166.8	167.4	168.0	168.6
	経費回収率 (A/B×100)	95.4%	94.1%	93.9%	93.8%	93.5%	93.2%	92.9%	92.6%	92.3%	92.0%	91.6%

※R07は予算値

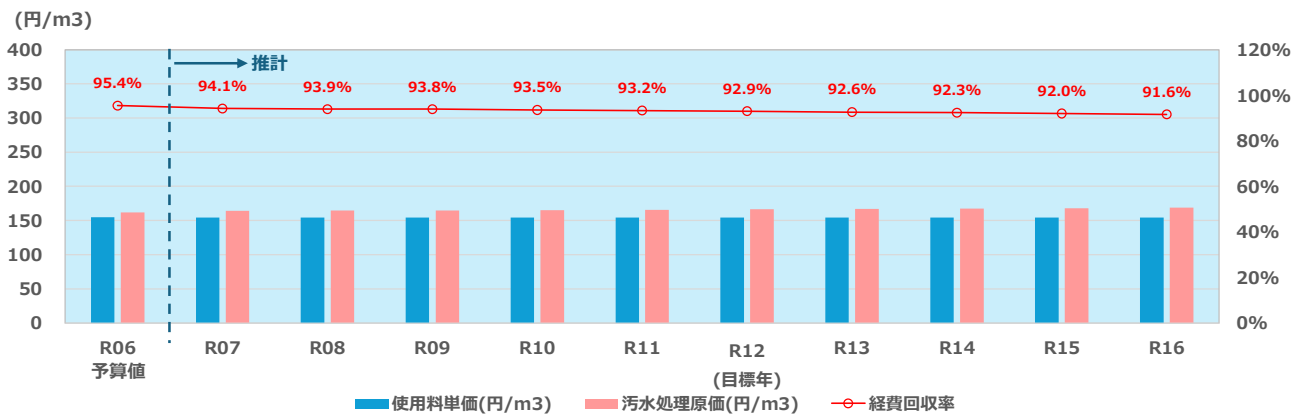


図 1 使用料単価・汚水処理原価及び経費回収率の推移

2) 水洗化率の推移

本市における水洗化率は令和6年度決算で95.3%と高い水準となっています。このため、経営戦略策定期間である令和8～12年度の5年間においては、さらなる下水道使用料収入の確保の観点で96.8%を目指します。

表3 水洗化率の推移

項目 \ 年度		R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12 (目標年)	R13	R14	R15	R16
水洗化率 (A/B×100)	水洗化人口(A)(人)	80,208	79,886	79,878	79,867	79,773	79,758	79,740	79,639	79,534	79,509	79,400
	処理区域内人口(B) (人)	84,164	83,826	83,554	83,282	82,924	82,651	82,376	82,017	81,657	81,381	81,020
		95.3%	95.3%	95.6%	95.9%	96.2%	96.5%	96.8%	97.1%	97.4%	97.7%	98.0%

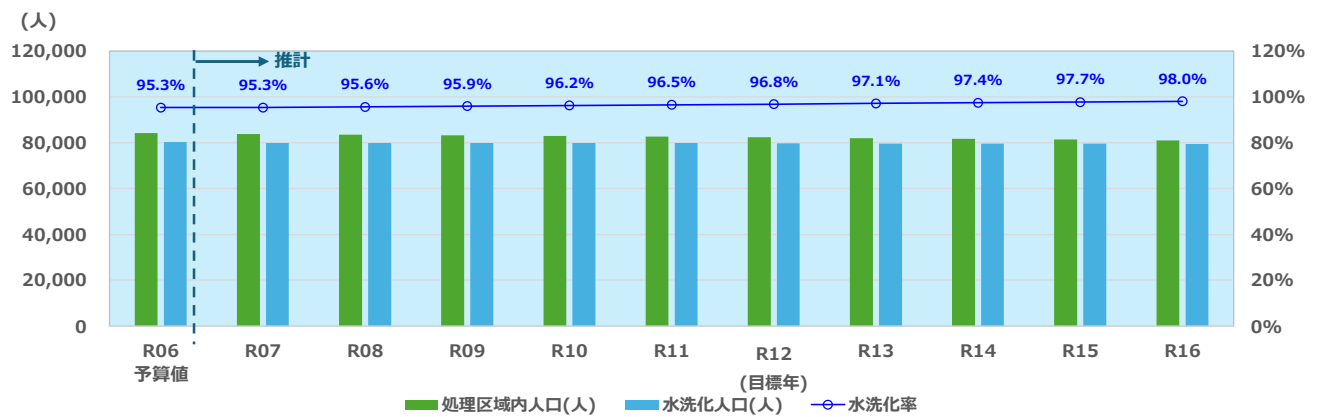


図2 水洗化率の推移